

令和5年度 視覚障がい者サービス協力者「せせらぎの会」

8月研修会を開催しました

1 日 時：令和5年8月23日（水曜日）13時30分から15時30分

2 会 場：岐阜県図書館 研修室

3 参加者：視覚障がい者サービス協力者（11名）

：市町図書館等職員（3名）

：職員（7名）

4 演 題：「読字障害当事者の声」

5 講 師：神山 忠 氏

学習障害(LD)当事者。元・小中学校特別支援教育主幹教諭、岐阜特別支援学校で地域支援センター長なども務める。NPO法人バリアフリー読書支援センター(BRC)副理事長。

講師自身の苦勞された学齢期の経験をもとに、ディスレクシアの方が直面している困難さについてお話いただきました。イラストや図を使って、実際のディスレクシアの方がどんな見え方にあるのかを具体的に教えていただき「非常にわかりやすかった」と参加者から多くの声が寄せられました。その他にも「相手に寄り添うことを考えさせられた」「今後はディスレクシアの子どもたちのために児童書の音訳をしてみたい」などの感想がありました。

今回の講演によって、本当の意味での「多様性」や「誰一人取り残さない社会」について再考する貴重な機会となりました。

■ディスレクシアとは

「知的機能の発達の遅れや視覚障がいがないにもかかわらず、読むことに著しい困難を抱える症状。読むことだけでなく書くことにも困難を伴うことが多く、発達性読み書き障害ともいわれる。発達障害のうち学習障害の中心的な症状である。」

日本大百科全書（ニッポニカ），JapanKnowledge，
<https://japanknowledge.com>，(参照 2023-08-25)



スライドを見る参加者の様子